

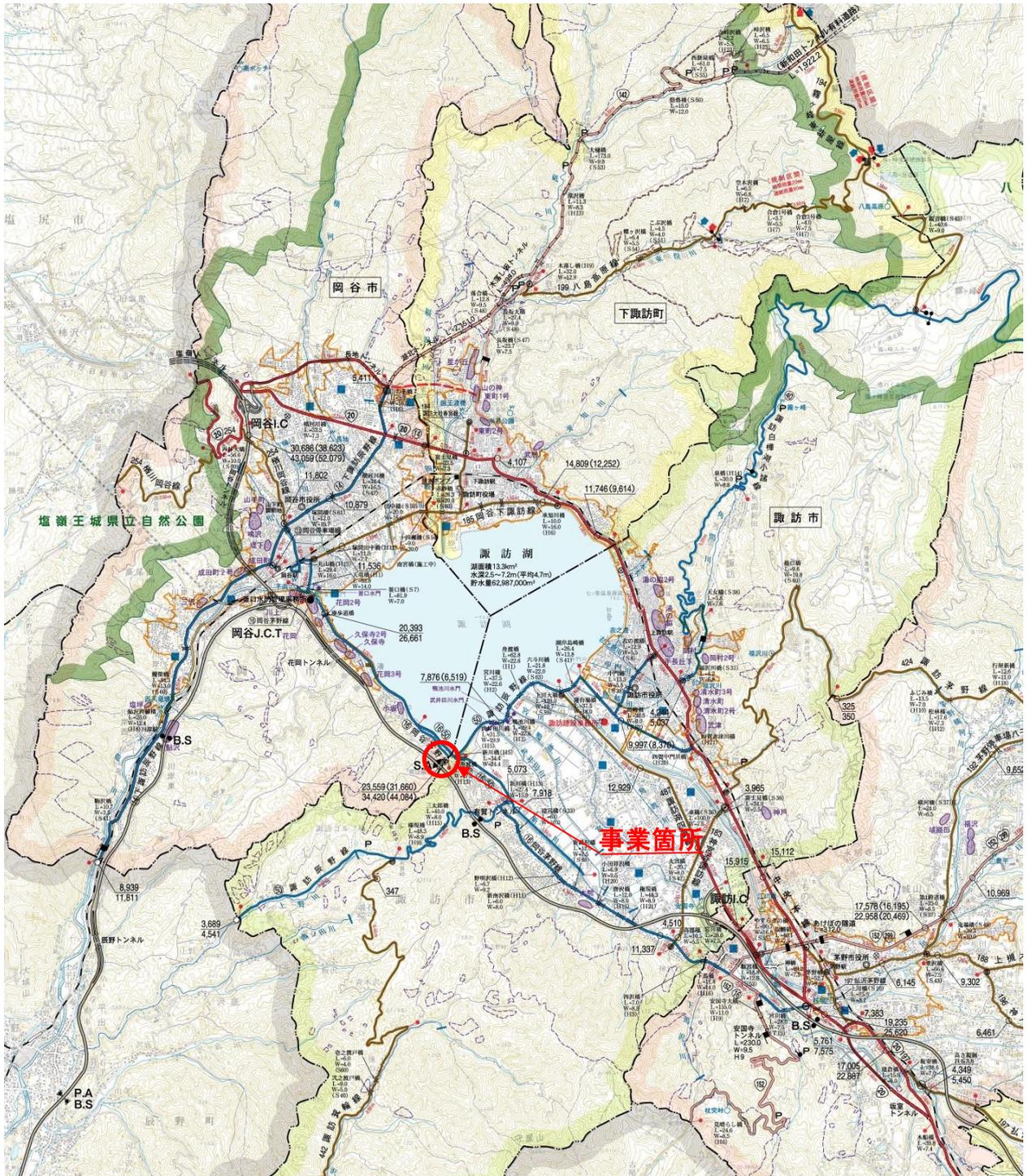
公共事業環境配慮書(案)

建設部 道路建設課

事業名称	
事業名	国補道路改築(地域連携)事業
整理番号	R5-1
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備
市町村名	岡谷市～諏訪市
箇所名	小坂～有賀
事業年度	令和3年度～令和5年度
事業概要	
目的	中央自動車道諏訪湖SAにおいて、諏訪岡谷両市によりスマートIC計画が進められている。その中で検討されている接続道路は、諏訪地域と上伊那地域をつなぎ広域的に機能するものである。一方、主要地方道諏訪辰野線は幅員狭小、急勾配及び線形不良の未改良区間があり、大型車の通行規制がされている。このため、「諏訪辰野線の未改良区間解消」と「スマートICへのアクセス機能確保」のため、新県道整備を推進している。
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=2,400m W=6.0(7.5)m
関連する事業計画	諏訪湖スマートインターチェンジ事業
その他特記事項	令和5年3月、一部区域(別添図面参照)について、要綱に基づき環境配慮書を公表する前に工事を実施していたことが判明した。直ちに工事を中断し施工状況等を確認したところ、以下に示す環境配慮の方針を満たす事業内容で工事が実施されていたことを確認した。 残りの区域については、今後、環境配慮書の作成および公表により、その方針に沿った工事を行い、より一層の環境負荷の低減に努める。
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(第一種住居地域) 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし
社会的要素	
	留意すべき地域の概況
交通の現況	事業区域に諏訪湖スマートインターチェンジが位置する
土地利用の現況	山地・丘陵地である
生活関連施設の現況	住居が点在している
その他	特になし
自然的環境要素	
	環境配慮の方針
大気環境	留意すべき地域の概況 特になし
	【大気汚染の防止】 ・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。
	【騒音、振動の防止】 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。
	【悪臭の防止】 ・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。 ・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。
水環境	留意すべき地域の概況 河川・湖沼に隣接する 地下水の利用がある
	【水質汚濁の防止】 ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。
	【水循環の保全】 ・山間部において、流域界の変更や沢の埋立を避ける。
地形・地質	留意すべき地域の概況 山地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】 ・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。
	【改変面積の最小化】 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。

野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。		
・特定外来生物が確認された場合は、関係機関と相談の上、駆除に努める。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・回避すべき重大な影響は想定できない。		
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある(平山遺跡、平山トンネル上部)
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない。		

位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図および2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平23関複第215号)

